



## 「課題等研修（人権教育研修）」

## 高知市立小中学校4年経験者研修（教諭）

平成25年8月12日（月）実施

### 概要

教育活動全体を通じた人権教育を推進していくための留意点や学習指導要領の趣旨を生かした人権学習についての講義を通して、人権尊重の学校づくりについて研修をするとともに、各教科等における人権教育の視点を踏まえた学習指導案を作成する。また、本研修での成果をもとに2学期以降、授業を行う。

研修【講義】「教育活動全体を通じた人権教育の推進」

人権・こども支援課 西原 知佐子 班長

何のために、人権教育をするのですか？

どうしてもめざさなければならぬのかを自分の感性の言葉で、子どもたちにどのように伝えていきますか？

### 【人権教育の4つの視点】

人権が大切にされる社会をめざす

学校教育の果たす役割

人権のための教育  
(目的)

人権についての教育  
(内容)

人権や人権問題を学ぶ

すべての人が等しく  
学習機会を得る

人権が大切にされた  
環境で学ぶ

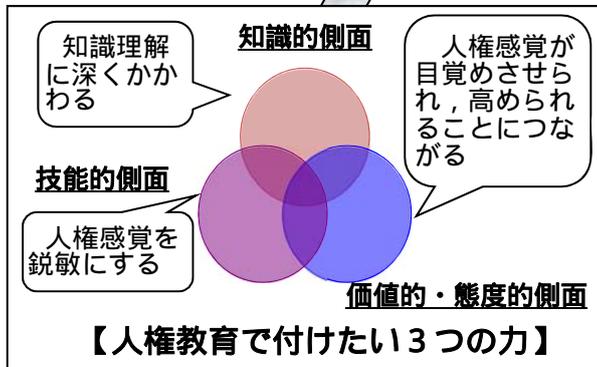
人権としての教育  
(機会)

人権を通じての教育  
(環境)

### 人権教育と教科等とのかかわり

各教科  
道徳  
外国語活動  
総合的な学習の時間  
特別活動

学習指導要領に示されている目標や内容のなかに位置付けられている人権教育に関わる教育内容を見出す。



### 個別的な視点からのアプローチ

高知市の9つの人権課題

- ・ 同和問題
- ・ 子ども
- ・ 障害者
- ・ HIV感染者等
- ・ インターネットによる人権侵害
- ・ その他
- ・ 女性
- ・ 高齢者
- ・ 外国人

### 普遍的な視点からのアプローチ

- ・ 人間の尊厳、自他の価値の尊重
- ・ 多様性の尊重、共生
- ・ 能動的な傾聴、適切な自己表現等を可能とするコミュニケーション能力
- ・ 他者の痛みや感情を共感的に受容できるための想像力や感受性 など

研修【講義・演習】

「各教科又は領域の授業における人権学習指導案の作成」

人権・こども支援課 藤原 祐三 指導主事



各教科の目標と人権に関する知識・技能・態度を養う人権教育の目標が達成できる学習指導案づくりを行った。

受講生同士で話し合いながら、各々の学習指導案を作成し、最後には要旨を発表し合った。

### 人権が尊重される授業づくりの視点例

自己存在感をもたせる支援の工夫  
共感的人間関係を育成する支援の工夫  
自己選択、自己決定の場を工夫して設定

個別的な人権課題の視点からアプローチするという、新しい試みに挑戦し、理科という教科のなかでの人権教育を考えるのに苦戦をした。しかし、それに挑戦することで、自分の人権に気付く目が少し育ったような気がする。

(演習後の受講者の声)

### 受講者の感想から

- ・ 人権教育と教科を関連させた学習指導案を作成して授業をするという経験がなかったため、今回の研修はとても多くのことを学べた。内容、機会、環境、目的の4つの視点をバランスよく取り入れた授業づくりが必要だということ、付けたい3つの力を学習指導案に明記することが大切であるということが分かった。
- ・ 今まで、教科学習と人権学習を別々に考えていたが、授業をするうえで、人権学習の視点を踏まえた指導も必要であることが分かった。日頃から人権学習の視点に立った学習指導案を作成していきたい。

# 平成25年度 特別支援教育学校コーディネーター研修会

対象：市立学校における特別支援教育学校コーディネーター 平成25年7月24日（水）実施

について...  
管理職や各学級担任、養護教諭間の連絡調整を行ったり、必要に応じて関係機関との連絡調整に努めたりする。

について...  
担任の相談から状況を整理し、担任とともに児童生徒理解や支援方法を検討し、実践を進める。

## 特別支援教育学校コーディネーターの五つの役割

- ① 校内の関係者や関係機関との連絡調整
- ② 保護者に対する窓口
- ③ 担任への支援
- ④ 巡回相談や専門家チームとの連携
- ⑤ 校内委員会での推進役

について...  
保護者の気持ちを受け止め、保護者とともに対応策を考えていく。保護者に対する支援体制についても考慮する。

について...  
巡回相談員や専門家チームとの連携を進めるうえで、窓口となる。

について...

### 1 校内委員会での役割

- ・ 児童生徒の教育的ニーズを把握し、長期的・短期的な見通しをもって会議に臨む。
- ・ 個別の指導計画は、校内委員会にて話し合いをしながら作成し、コーディネーターとして援助できることや校内での支援の役割を明確にすることが重要である。

### 2 校内の状況の把握と情報収集の推進

- ・ 教職員の気付きやニーズを把握する。
- ・ 保護者のニーズを把握する。的確な支援につなげる。
- ・ 校内リソース（資源）を把握する。できる支援の可能性を広げる。

### 3 ケース会議の開催と校内委員会

- ・ ケース会議のために情報収集し、進め方を計画する。
- ・ ケース会議の結果を校内委員会につなげる。

### 4 個別の教育支援計画の作成に向けて

- ・ 作成に向けて必要に応じたアドバイスを行うとともに、全教職員での内容の共有を図る。

### 5 校内委員会での個別の指導計画の作成への参画

- ・ 個別の指導計画の作成へ参画し、校内でのとりまとめ等を行う。

### 6 校内研修の企画と実施

- ・ 教職員のニーズにあった校内研修会を立案する。
- ・ 研修会を実施し、内容について評価したうえで、次の取組につなげる。

ケース会議は、必要に応じて柔軟に開催できるよう運営する。



## メインシートの活用

支援会議前.....情報収集

支援会議中.....協議事項の整理

次の支援会議...指導を検証

メインシートを活用することで、情報漏れがなくなることや、キーパーソンが明確になるなどのメリットが期待される。

## 《受講者の感想》

- ・ 個別の支援手帳のメインシートの書式と書き方がよく分かった。メインシートの内容は、個人の状態を多角的にとらえることができるため、個別指導計画を立てる際に活用したい。
- ・ コーディネーターの役割について改めて認識することができた。支援計画や指導計画の作成を担当に任せている現状があるので、内容を深めるためにも、支援会を利用して複数の教職員で共有していきたい。
- ・ コーディネーターの五つの役割を念頭において、その役割を学校で果たすことができればと思う。よりよく「つなぐ」ことができるように連絡を密にしていきたいと思う。
- ・ 教師としてどう子どもに向き合うことが大切か、保護者との意思疎通を図っていくことの重要性を改めて考えることができた。

ご意見・ご感想等を高知市教育研究所 教職員研修班までお寄せください。